

# ご案内

うらぼんえ  
**盂蘭盆会**

8月10日(日)  
 午前10時より

8月16日(土)  
 午前10時より

**清掃奉仕のお願い**

お盆をお迎えする準備として、境内の清掃とお仏具のお磨きをお願いします

8月 3日(日)  
 午前7時より



先日太陽のもとで立派に咲くヒマワリを見かけ、いよいよ夏本番が近づいていると感じるようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

仏教について勉強中の私に、住職が紹介してくれた伊藤元さんという方のお説法がありました。仏教の「救い」とはどういうものなのか、非常にわかりやすいお話でしたので、簡単に紹介させていただきます。

我々人間が考える「救い」というのは、願いが叶うこと、と思っているのではない。だがそれが叶っても次第に慣れ当たり前になり、また次の願いが叶うことを求めるようになる。これは本当の救いではない。

仏教が与える「救い」はこれとは異なり、当たり前前となっていることが

当たり前前ではないということ、それに対する感謝の心に気づかせてくれるもの。

「幸福の量は謝念の量に等しい」、すなわちどれだけ幸福かは、どのくらい感謝できたかということ。

要約したのですが、このようにおっしゃられていました。

恥ずかしながら、私も以前は「救い」とは願いが叶うことと思っていました。お寺と神社で手を合わせ思うことの違いも分からず、混同してしまっていたこともありました。

ですがこのお話が、仏教の教えの意味、当たり前前になっていることへの感謝の大切さを思い知る、とても良いきっかけとなりました。

忙しい日々の中で、この気づきが奥に奥にと薄れてしまうかもしれません。

日頃から仏教に触れ、思い出すことも大切だと感じます。